

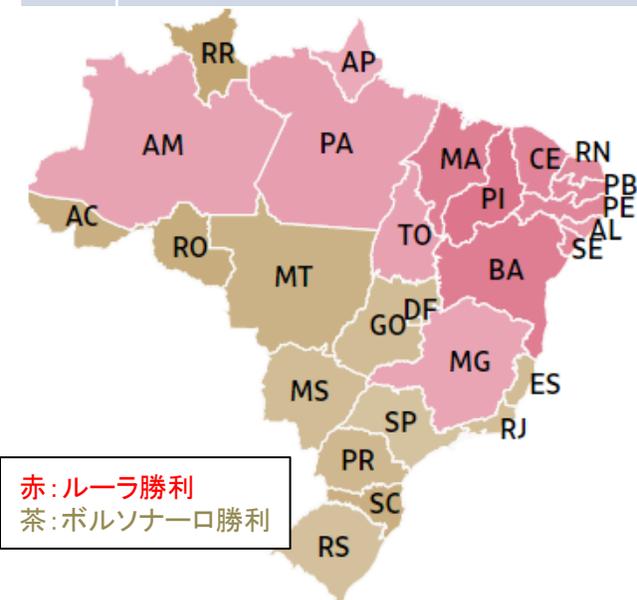
第一回目投票の結果

- ✓ ルーラ元大統領(左派)が48.43%(57,259,504票)、ボルソナーロ大統領(右派)が43.20%(51,072,345票)を獲得。両候補の得票とも過半数に至らず10月30日(日)の決選投票へ。
- ✓ 直前の主要な世論調査よりも大幅にボルソナーロ大統領が躍進(投票直前に、ゴメス財務大臣、テベチ上院議員への票や態度未決定票がボルソナーロ大統領に流れたとみられる)。連邦議会選挙・州知事選でもボルソナーロ派が躍進。

	開票結果	得票率	得票数	直前の世論調査 DataFolha(10/1)
1	ルーラ元大統領	48.43%	57,259,504	50%
2	ボルソナーロ大統領	43.20%	51,072,345	36%
3	テベッチ上院議員	4.16%	4,915,423	6%
4	シロ・ゴメス元財務大臣	3.04%	3,599,287	5%
	(その他の7候補は1%確保できず)			

・両候補の差は5.23%(6,187,159票)で、これまで決選投票となった大統領選で最も僅差。
 ・ボルソナーロ大統領は事前の各種世論調査よりも大きな伸びを示した

・投票率棄権率は例年同様2割程度なるも、無効票・白票は2014年以来最低の4.21%(前2018年選挙の半分以下)



赤:ルーラ勝利
 茶:ボルソナーロ勝利

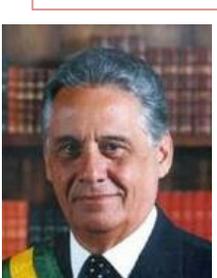
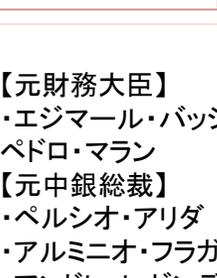
○ルーラは、北部・北東部中心に14州で過半数以上の得票
 北東部9州(アラゴアス、バイーア、セアラ、マラニョン、パライバー、ピアウイ、リオ・グランデ・ド・ノルチ、ペルナンブコ、セルジッペ)及び、北部の4州(パラー、アマゾナス、アマパー、トカンチンス)、及びミナスジェライス州

○ボルソナーロは、中西部・南部、南西部を中心に13州過半数以上の得票
 南部3州(パラナ、サンタカタリーナ、リオ・グランデ・ド・スール)、南西部3州(サンパウロ、リオ・デ・ジャネイロ、エスピリト・サント州)、中西部4州(連邦直轄区、ゴイアス、マツ・グロッツ、マツ・グロッツ・ド・スール)、北部3州(アクレ、ロライマ、 Rondônia)

第二回目投票(10月30日)の見通し

- ✓ 第二回目投票に突入し、争点は、経済から、ボルソナーロ政権・主義・思想を承認するか否かに移行。幅広い国民層にとっては、感情的な反ボルソナーロ、反ルーラが争点となっており、政治的暴力のエスカレートが懸念。経済状況は、有権者の投票態度決定に引き続き重要。
- ✓ 世論調査では有権者の多く(90%程度)が投票先を決めているとしており、引き続き拮抗した選挙戦になる見込み。
- ✓ ボルソナーロは、既に勝利を確定させた州知事や上下連邦議員の支持を取り付け、女性に対する社会給付(アウシリオ・ブラジル)の追加給付を発表する等、現職の強みを生かした選挙戦と展開。ルーラは、第一回目投票での3位、4位候補やフェルナンド・エンリケ・カルドーズ元大統領の支持を得て、反ボルソナーロ陣営を拡大し、中道に向けて支持層拡大を狙う。

ルーラ陣営の主な支持者(連立政党: PT、PSB、PCdoB、PV、PSOL、REDE、Solidariedade、Avante、Agir)

 ルーラ元大統領 (PT)	 アルキミン副大統領候補 (PSB)	 テベッチ上院議員 (MDB)	 ゴメス元財務大臣 (PDT)	 カルドーズ元大統領 (PSDB)	 【元財務大臣】 ・エジマール・バッシャ ペドロ・マラン 【元中銀総裁】 ・ペルシオ・アリダ ・アルミニオ・フラガ ・アンドレ・レゼンデ	 バールバーリョPA州知事 (MDB)	<p>当選した州知事6名(内4名現職)</p> <p>科学者・芸術家・有識者等が支持を表明。</p> <p>貧困層・北部・北東部、女性が支持基盤</p>	<p>【支持表明】 PDT・Cidadania PCB・PSTU・UP</p>
--	--	---	--	---	--	---	--	---

ボルソナーロ陣営の主な支持者(連立政党: PL、PP、Republicanos)

 ボルソナーロ大統領 (PP)	 ブラガ・ネット副大統領 (PP)	 カストロR州知事 (PL)	 ゼマMG州知事 (NOVO)	 ラチーニョPR州知事 (PSD)	 リラ下院議長 (PP)	 モーロ元法相 (União Brasil)	<p>10月2日に当選した州知事9名(全て現職再選)</p> <p>右派が躍進した議会関係者</p> <p>伯の人口の30~40%と言われる福音派は組織的にボルソナーロ支持</p> <p>中・高所得者層・農業関係者が支持基盤</p>	<p>【政党としては中立】 PSD・União Brasil MDB・PSDB・NOVO</p> <p>【支持表明】 PTB・PSC</p>
--	---	--	--	---	--	--	--	--

過去の第二回目投票

- ✓ 民政移管移行の伯選挙では第一回投票での勝者が2回目も勝利、他方で、現職大統領が勝利してきている。
- ✓ 今次選挙は得票率の差も5.23%と史上最も少なく(これまで最も僅差だったのは2006年の6.97%)、また、現職と元大統領が決選投票に進むのは、前例がない展開。
- ✓ 通例では、1回目投票と2回目投票で、得票の差が縮まる傾向(2006年は例外とされている)。

2018年大統領選		第一回目	第2回目
	ボルソナーロ	46.03%	55.13%
		16.75%の差	10.26%の差
	アダッジ	29.28%	44.87%

2014年大統領選		第一回目	第2回目
	ジルマ	41.59%	51.64%
		8.04%の差	3.24%の差
	ネーヴェス	33.55%	48.36%

2010年大統領選		第一回目	第2回目
	ジルマ	46.91%	56.05%
		14.3%の差	12.1%の差
	セーハ	32.61%	43.95%

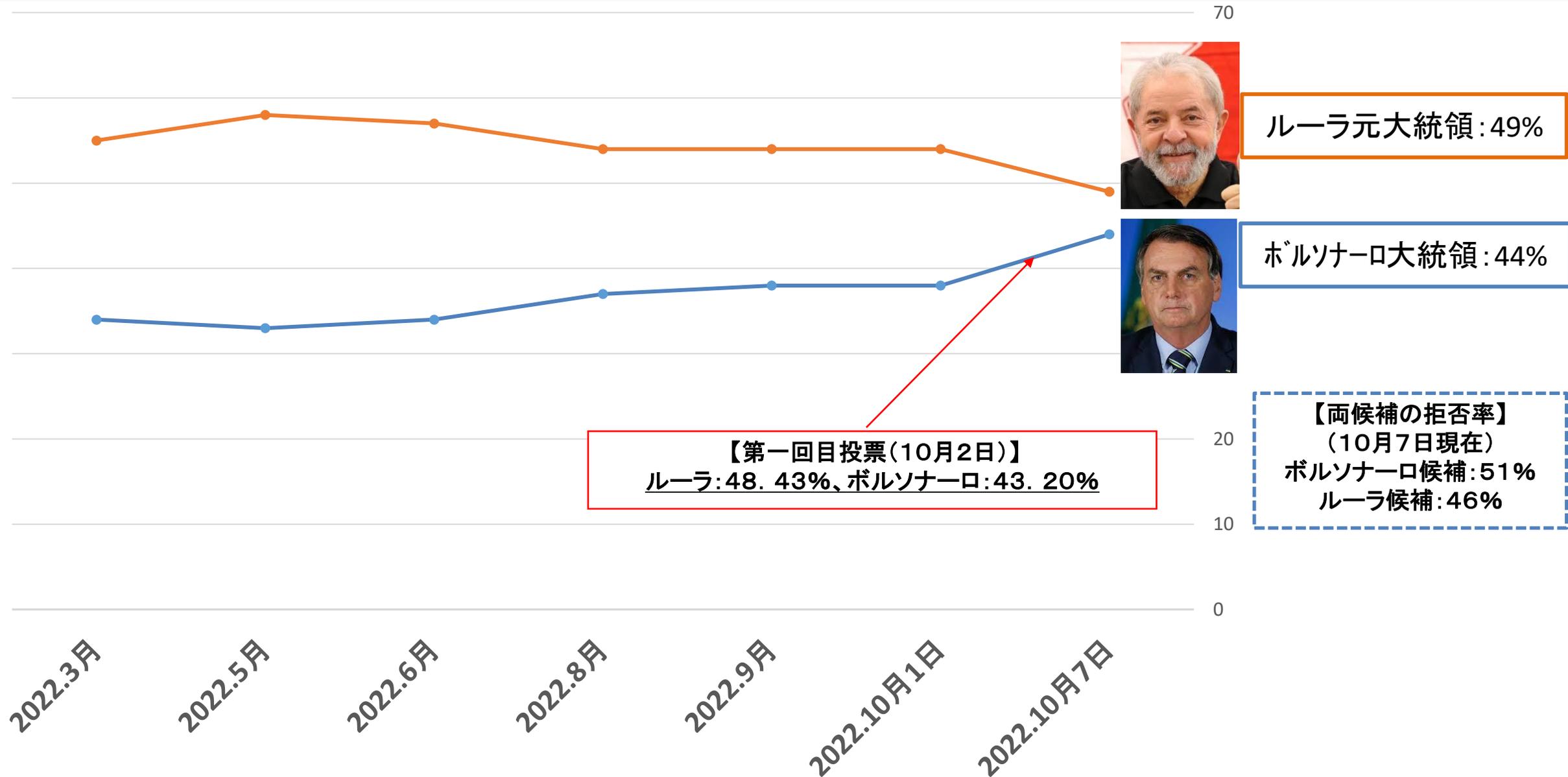
2006年大統領選		第一回目	第2回目
	ルーラ	48.61%	60.83%
		6.97%の差	21.66%の差
	アルキミン	41.64%	39.17%

2002年大統領選		第一回目	第2回目
	ルーラ	46.44%	61.27%
		23.25%の差	22.55%の差
	セーハ	23.19%	38.72%

1989年大統領選		第一回目	第2回目
	コロール	30.47%	53.03%
		13.29%の差	6.06%の差
	ルーラ	17.18%	46.97%

※1994年、1998年の大統領選挙は、カルドゾが第一回目投票で過半数を取得し勝利を確定している(いずれも2位はルーラ)。

2022年大統領選候補者支持率の推移(決戦投票)





➤ 第一回投票(10月2日)の結果

事前の世論調査結果を覆し、タルシジオ・デ・フレイタス元インフラ大臣(共和党)が1位(得票率42.32%)、フェルナンドアダッジ元サンパウロ市長(PT)が2位(35.7%)で10月30日の決選投票に残った。現職のロドリゴ・ガルシア・サンパウロ州知事は3位。

	候補者名	得票率	得票数	直前の世論調査 (10/1 Datafolha)
1	タルシジオ・デ・フレイタス (共和党)	42.32%	9,881,995	31%
2	フェルナンド・アダッジ (PT)	35.70%	8,337,139	39%
3	ロドリゴ・ガルシア (PSDB)	18.40%	4,296,293	19%

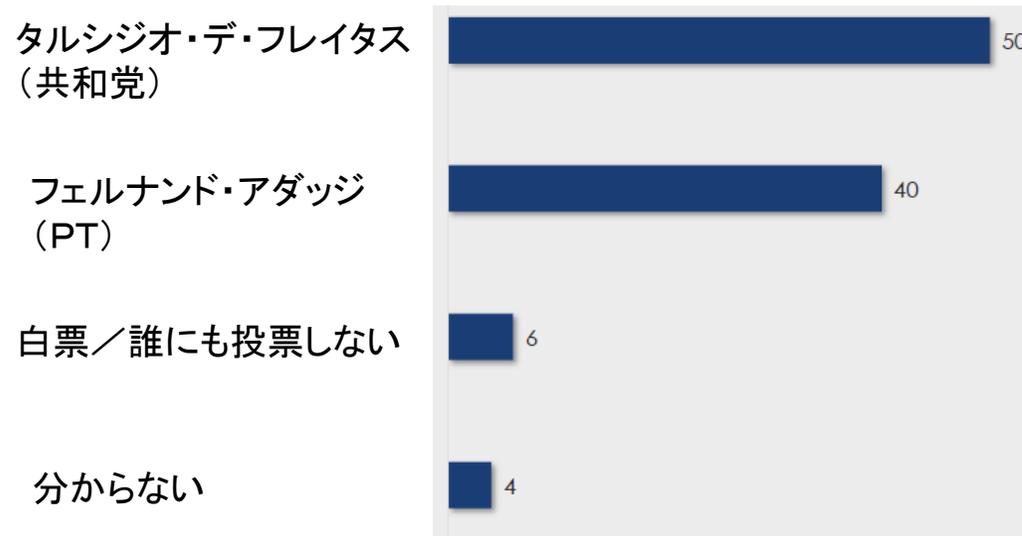
➤ ガルシア州知事はタルシジオ・デ・フレイタス候補を支持

10月4日、ガルシア州知事はボルソナーロ大統領及びデ・フレイタス元インフラ大臣への支持を表明。理由の一つとして、PT所属のサンパウロ州知事誕生を防ぐことを挙げている。過去PT候補者がサンパウロ州知事選挙で勝利した例はない。

➤ 仮に決戦投票が今実施された場合、誰に投票するか？

(調査期間:10月5日~7日)

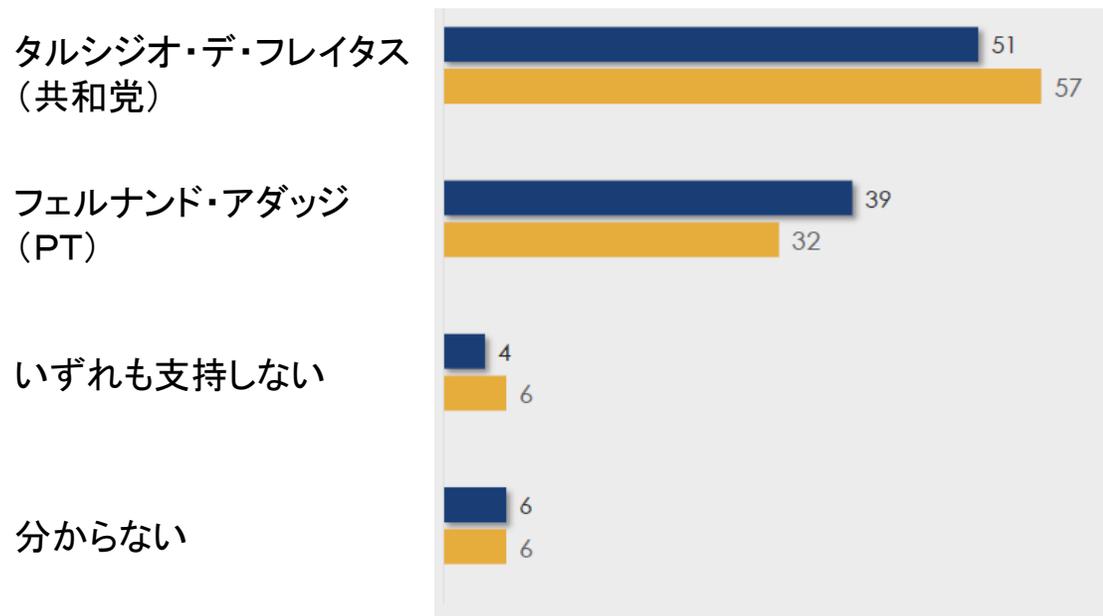
(出典:Datafolha)



➤ ロドリゴ・ガルシア州知事は決選投票で誰を支持するべきか？

(調査期間:10月5日~7日)

(出典:Datafolha)



■ 全体

■ 調査対象者のうち1回目の投票でガルシア州知事に投票した者